

かていれいはい さいがいに
家庭礼拝ガイド（災害時のために） 第七日

かみ う なぐさ
テーマ：神から受ける慰めによって

せいしよかしよ びと てがみだいに しよ せつ
聖書箇所：コリント人への手紙第二 1 章 4 節

きよ
◆今日のみことば

「神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。」コリント人への手紙第二 1 章 4 節

◆メッセージ

災害は私たちを苦しめます。悲しくて、怖くて、不安で眠れない時もあると思います。でも神さまは、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださると御言葉は約束しています。

神さまがくださる慰めってどういうものなのでしょう。続く箇所によれば、その慰めは「苦難に耐え抜く力を、あなたがたに与えてくれる」と語られています（1:6）。神さまはあらゆる苦しみを乗り越えることのできる力を、私たちに与えてくださるのです。

この手紙を記したパウロは、何度も大きな苦しみを経験していました。耐えられないほどの圧迫を受けて、生きる望みを失い、もう生きられないと思うほどの苦しみを味わっていました（1:8-9）。でも、パウロは苦しみの中で耐え抜く力を神さまからいただくことができました。

その慰めの力は、どのようにしてパウロにもたらされたのでしょうか。彼はこう書いています。「気落ちした者を慰めてくださる神は、テトスが来たことで私たちを慰めてくださいました」（7:6）。しかもテトスが来たことだけでなく、テトスのことを慰めたコリントの教会の人たちの存在によっても慰めをいただいたと語っています（7:7）。神さまの慰めは、人を通してもたらされるのです。

今、あなたのそばで、あなたに寄り添い、声をかけ、関わってくれる人がいるでしょうか。あなたのことを思い、その苦しみを分かってくれる人がいるでしょうか。神さまはそういう人をあなたに与えてくださるはずで、祈ってくれる人がいる。心配してくれる人がいる。そばにいて応援してくれる人がいる。そういう人の存在を通して、神さまは私たちに耐え抜く力を与えてくださるのです。

そしていつか、あなたも苦しむ誰かのために、神さまの慰めをもたらす人として用いていただけるのです。

いの
◆お祈り

「神さま、あなたは人を通して、耐え抜く力を与えてくださることを知りました。神さまが与えてくださる慰めを感謝します。いつかわたしも慰めをもたらす人となることができますように。主の御名によって祈ります。アーメン。」

（茅ヶ崎同盟教会牧師 山村諭）